

【読み】教材選択ツール 実施結果記録シート

実施日 年 月 日 氏名

【Ⅰ文字の読み】

↓ 誤りがあった課題に「✓」を記入

必要とされる力	課題名	実施に○	1年生	2年生	3・4年生	5・6年生
① 形を捉える力	p.1 線・形の弁別					
	p.2 同じ文字の発見①(ひらがなの清音・濁音・半濁音・拗音)					
	p.3 同じ文字の発見②(カタカナの清音・漢字)					
② 音を聞き分ける力、操作する力	p.4 音の操作					
③ 文字を音に変換する力	p.5 ひらがなカルタ					
	p.6 カタカナカルタ					
	p.7 濁音・半濁音カルタ					
	p.8 拗音カルタ					

【Ⅱ語の理解】

必要とされる力	課題名	実施に○	1年生	2年生	3・4年生	5・6年生
④ 単語を音に変換する力 ⑤ 単語をまとまりで流暢に読む力	p.9 単語の音読①(ひらがなの清音・特殊音節) [誤り数]					
⑤ 単語をまとまりで流暢に読む力	p.10 単語の音読②(ひらがなの清音・特殊音節) [時間]					
④ 単語を音に変換する力	p.11 絵と語のマッチング(ひらがなの促音・長音・拗長音／カタカナの長音)					
④ 単語を音に変換する力 ⑥ 語彙の力	p.12 違いの判断(漢字)					
⑤ 単語をまとまりで流暢に読む力	p.13 言葉区切り(ひらがな)					
	p.14 言葉探し(漢字)					
⑥ 語彙の力	p.15 類義語選び					

【Ⅲ文の理解】

必要とされる力	課題名	実施に○	1年生	2年生	3・4年生	5・6年生
⑦ 文節を把握する力	p.16 文節区切り					
⑧ 助詞の働きを理解する力	p.17 後続文の選択Ⅰ(助詞)					
	p.18 絵の選択Ⅰ(助詞)					
⑨ 修飾－被修飾の関係を理解する力	p.19 絵の選択Ⅱ(語と語の関係)					
⑩ 時制を理解する力	p.20 時制の判断					

【Ⅳ文章の理解】

必要とされる力	課題名	実施に○	1年生	2年生	3・4年生	5・6年生
⑪ 指示語を理解する力	p.21 指示語と語句の対応					
⑫ 接続語の働きを理解する力	p.22 後続文の選択Ⅱ(接続語)					

★「必要とされる力」何を指導する？決定のポイント

- 複数の課題で誤りがあった場合は、以下を検討してみてください。
- 誤りの数が多い課題に対応する「必要とされる力」を指導する。
 - 文字や単語の読み書きは代替手段で補える場合、文や文章の階層を優先して指導する。
 - 実際の生活場面で困り感が大きい力を優先して指導する。

指導対象にする「必要とされる力」

【書き】教材選択ツール 採点シート

実施日 年 月 日 氏名

【Ⅰ 文字の書き】

↓ 誤りがあった課題に「✓」を記入

必要とされる力	課題名	実施に○	1年生	2年生	3・4年生	5・6年生
① 形を正しく書く力	p.1 線の視写					
	p.2 間違い文字さがし					
② 音から文字を思い出す力	p.3 ひらがなカルタ(書き)					
	p.4 カタカナカルタ(書き)					
	p.5 濁音・半濁音カルタ(書き)					
	p.6 拗音カルタ(書き)					
① 形を正しく書く力	p.7 へんかつりの配置選択					

【Ⅱ 語の書き】

必要とされる力	課題名	実施に○	1年生	2年生	3・4年生	5・6年生
③ 単語の音を分解する力	p.8 モーラの数と順序の理解					
	p.9 文字数の理解					
④ 特殊音節の音を正しく表記する力	p.10 表記の訂正① (ひらがな・カタカナの特殊音節)					
⑤ カタカナ単語を正しく書く力	p.11 カタカナ語探し					
	p.12 表記の訂正②(カタカナ)					
⑥ 漢字の意味や読みを検討する力	p.13 表記の訂正③(熟語)					
	p.14 表記の訂正④(送りがな)					

【Ⅲ 文の書き】

必要とされる力	課題名	実施に○	1年生	2年生	3・4年生	5・6年生
⑦ 伝えるための語彙	p.15 言葉選び					
⑧ 正しい助詞を使用する力	p.16 助詞の選択					
⑨ 文を正しく組み立てる力	p.17 文の組み立てⅠ(単文)					
	p.18 文の組み立てⅡ(重文・複文)					
⑩ 正しい時制で書く力	p.19 時制の選択					
⑪ 表記ルール of 知識	p.20 句読点の理解					

【Ⅳ 文章の書き】

必要とされる力	課題名	実施に○	1年生	2年生	3・4年生	5・6年生
⑫ テーマに沿って内容を絞り込む力	p.21 関係の無い文の発見					
⑬ 時系列に沿って書く力	p.22 時系列の確認					

★「必要とされる力」何を指導する？ 決定のポイント

複数の課題で誤りがあった場合は、以下を検討してみてください。

- 誤りの数が多い課題に対応する「必要とされる力」を指導する。
- 文字や単語の読み書きは代替手段で補える場合、文や文章の階層を優先して指導する。
- 実際の生活場面で困り感が大きい力を優先して指導する。

指導対象にする「必要とされる力」